

家庭菜園で玉葱を作る

シャキシャキと甘くて美味しい玉葱は世界中で栽培されている野菜のひとつです。玉葱は種を蒔いてから収穫までの期間がおよそ10ヵ月間と栽培期間が長い作物です。つまり初夏に収穫している新玉葱は、前の年の9月頃に蒔きされたものなのです。玉葱を包丁で切ると涙が出る。これは玉葱に含まれる硫化アリルという成分が揮発して目に刺激を与えるからである。この硫化アリルには優れた薬効成分があります。例えば、硫化アリルとビタミンB1を一緒に摂取するとB1の吸収を高め、利尿・発汗作用を促します。また、血液をサラサラにしたり、糖尿病や高血圧などの予防に有効と言われています。

◆タネまきの時期

種を蒔く場合は、9月中旬〜下旬に蒔きます。種蒔きが早すぎると立ちの危険性が高い太い苗に、遅すぎると寒さで枯死する危険性がある細かい苗になってしまいます。早生品種は9月15日〜20日頃、中生〜中晩生は9月25日を目安に蒔きすると良いでしょう。

◆用土作りについて

種を蒔く前に土作りをしましょう。まず苦土石灰を1㎡当たり100g散布してよく耕します。次いで1㎡当たり堆肥を2kg、化成肥料を150g全面に散布してよく耕し、幅1mの平畝を作ります。雨で土の表面が固まった場合には、土を良く砕いておきましょう。

◆手順1 タネまき 畝の表面を板などで平らにならして深さ1〜2cmの溝をつけ、種を1〜2cm間隔にすじまきします。さらに薄く土をかけ、軽く手のひらで押さえて新聞紙やワラを敷きつめます。玉葱栽培は発芽するまで乾燥させないことが大切です。

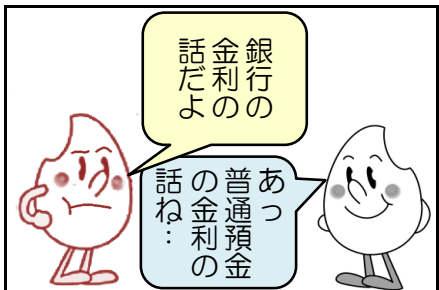
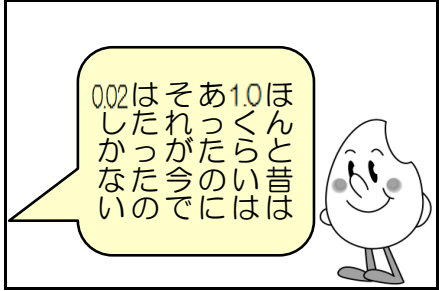
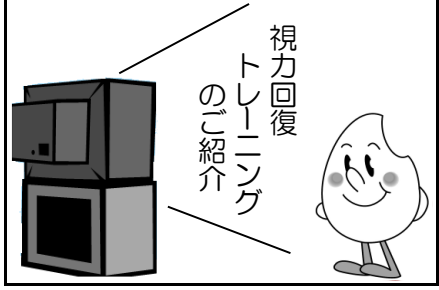
◆手順2 苗の定植 定植の際の苗の大きさは茎の太さが6〜8mmとなるようにしましょう。茎の太さが8mm以上になると立ちの危険が高まるので注意が必要です。軽く土寄せを行ないます。

◆手順3 追肥時期 追肥は普通、極早生・早生品種は2回、中生・中晩生品種は3回行います。極早生・早生での1回目（定植25日後）、2回目（定植2月上〜中旬）、3回目（定植3月上〜中旬）とし、貯蔵性を高めるためには多肥・遅肥を避け、貯蔵する玉葱に對して、4月以降に追肥を行うと腐敗する確率が高くなるので、4月以降の追肥は絶対に行わないようにしましょう。また多肥は食味や貯蔵性にも影響するので「腹八分目栽培」がポイントとなります。

◆玉葱苗のべと病と対策 べと病の症状には、全身感染型と二次感染型という二つの型があります。全身感染型は、秋に感染した病原菌が冬間に全身へまん延し、2〜3月になって発病するものである。葉の光沢がなくなり淡黄緑色に変色し、生育も遅れ、葉は横にやや湾曲します。早春の温暖多湿の条件下で全身に白色のつゆ状または暗紫色のカビを生じます。二次感染型は、春と秋に発生し、葉及び果実に長卵形ないし楕円形の黄色がかった大型斑点を形成し、多湿時には斑点状に白または暗紫色のカビを生じます。被害葉の多くは病斑部で折れて枯死します。【発生のおそれ】病原菌は純寄生菌で人工培養はできない。土壌中で10年以上も休眠状態で生存します。10〜11月に降雨などにより葉の上に跳ね上げられて伝染し発病します。一部は秋のうちに枯死します。気温15℃で多雨のときに多発します。特に4月中旬から5月上旬にかけての曇りや雨の日が続くと発生しやすくなります。【防ぎ方】苗床をつくる際は、過去に発病したことがない場所に作りましょう。発病圃場で連作すると被害が増加します。また排水の悪い圃場では高畝栽培とするなど、圃場や苗床が過湿にならないようにしましょう。この他には、健全な苗を植え付けるようにしましょう。移植の際、苗を厳選して保菌苗を持ち込まないようにします。薬剤散布による予防も大切です。防除薬剤としてはジマンダイセン水和剤・ダコニールフロアブル・ランマンフロアブルなどを散布すると良いでしょう。それぞれの薬剤の希釈倍率および使用時期は次の通りです。ジマンダイセン水和剤▼400〜600倍、収穫の3日前まで。ダコニールフロアブル▼1000倍、収穫の7日前まで。ランマンフロアブル▼2000倍、収穫の7日前まで。【その他の病害】玉葱にはべと病以外にも灰色腐敗病・軟腐病・黒斑病・さび病・萎縮病・乾腐病・腐敗病・白色疫病・萎黄病・苗立枯病・ボトリチス葉枯病などがあります。これらの症状や防ぎ方などは近月号でご紹介させていただきます。

玉葱栽培のポイント
◆大苗で冬越しすると春にとう立ちする危険があるので、蒔く時期に注意する
◆種を蒔く時期は9月中旬〜下旬に蒔く。早生品種は9月15〜20日頃、中生〜中晩生は同25日頃を目安にする
◆発芽するまでに日数がかかるので発芽するまで乾燥させないように注意する
◆定植は葉の緑の部分に土がかからないように注意して1.5〜2cm程度に植える
◆べと病は玉葱栽培の大敵。4〜5月には薬剤散布をして徹底的に予防すること

◆手順4 収穫目安 全体の7〜8割の茎葉が倒れた頃が収穫の適期とされています。貯蔵性の品種は全体の7〜8割の茎葉が倒れた頃、晴れた日が続くのを狙って収穫し、2〜3日そのまま畑で乾かします。極早生品種は3月頃から大きくなったものを順次収穫していきます。茎葉がしおれるまで太陽に当てたら茎を10cm程度残して、風通しが良く雨に当たらない場所に束ねて吊るしておきます。ヒモで束ねて吊るすのも良いですが、ミカンのネットやストッキングなどを利用するのも良いです。またプラスチックのカゴで保存することもできますが、一個ずつ新聞で包むと良いでしょう。



タイムポイントカード入会者募集中!!
ポイントカードは特典がいっぱいです。初回100円の入会料のみで年会費不要。クレジット機能無しで安心。105円のお買い物で1ポイント貯まり、500ポイント毎にレジで500円単位でご利用できます。詳しくはサービスカウンターまでお問い合わせ下さいませ。

機械修理専門スタッフ募集中!!
エンジン刈払機や耕運機など機械を直すのが大好きな方を大募集!年齢・経験は問いません。まずはお気軽に下記までご連絡下さい。【TEL】: 086-955-3411

タイム・実のりメール会員募集中
time@c-brain.com
上記アドレスに空メールを送って下さい。返信メールのアドレスにアクセスして登録を行なって下さい。

